

平成31年 **新 年 特 別 号****新年に心を新しくする**社会福祉法人日本心身障害児協会
理事長 河 幹夫

1961年の正月—島田療育園が開園した年—鞍馬天狗の生みの親、後の史伝「天皇の世紀」の作者、大佛次郎は、新聞随筆を次の言葉で始めている。「新年とは年を新しくすることではなく、自分の心を新しく持ち直すこと」。19世紀の終わりに生を受けた大佛はこの年、数えて65歳。見事である。

私が学生時代から尊敬している方に野本三吉（本名・加藤彰彦）さんがいる。「不可視のコミュニ」 という著作に出会った頃には、横浜・寿町の生活指導員をしておられたが、その後、児童相談所職員や大学教員をされ、21世紀には沖縄大学の学長も務められている。昨年、喜寿を迎えられ、年末に新しいご著書『まちにく暮らし>の種子を蒔く』を出版された。揮毫をお願いしたところ、「生きること それが ぼくの仕事」と書いて下さった。前から大切にしておられた言葉であった。しかし新鮮で私も勇気づけられた。

このお二人は、生きた時代も思想や活動も重なるところは殆どないが、誠実に日々を生き、思索し、仕事を続けられたことにおいて、共通するところもあるように思う。

小林提樹先生が「島田療育園」を構想された時代、社会では大きな物語が声高らかに語られていた。そして重症心身障害児が「生きる」物語を語る人は多くはなかった。そのような中で小林先生を初め、地道な仕事をし続けた人々。そして障害児（者）とそこご家族。「生きること それが ぼくの仕事」。心を新しくしたいと思う。

明けましておめでとうございます。

**経営者一同より新年のご挨拶を申し上げます**



2018年の思い出

2018年はたくさんの出来事がありました。2019年も良い年でありますように。



発行者

社会福祉法人 島田療育センター
日本心身障害児協会

〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>

